

第 37 回オンライン全国大会プログラム

9月26日(土)

10:30~12:00	理事会	ZOOM ホスト: 林 昌彦
-------------	-----	----------------

13:00~13:50	会員総会	ZOOM ホスト: 林 昌彦
-------------	------	----------------

研究部会最終報告		
14:00~15:50	<p>研究部会最終報告 課題「コンピュータ化に伴う地方自治をめぐるパラダイムの変化とその対応」 多名部重則（神戸市役所） 「自治体業務におけるテクノロジー活用手法の開発—コロナ時代に合わせた共同開発事例から—」 小林信宏（福岡市役所） 「地方自治体の「情報資産」に対する BOLD（Big, Open, and Linked Data）の取組みに関するフレームワーク試論」 松田 学（松田政策研究所代表） 「地方創生のテーマとしての協働型コモンズとブロックチェーン」 小松陽一（元・関西大学教授） 「コロナ禍と事業のパラダイム・チェンジ—可視化した地方自治体の諸課題をめぐる—考察—」 宗岡 徹（関西大学） 「コンピュータ化に伴う地方自治をめぐるパラダイムの変化とその対応—コロナ禍の影響も加味して—」 討論者 井戸田博樹（近畿大学） 討論者 山本 清（鎌倉女子大学）</p>	<p>座長: 星野 泉 （明治大学） ZOOM ホスト: 鎌苅宏司 （大阪学院大学）</p>

自由論題報告(1)		
14:00~14:50	<p>横田早紀（同志社大学大学院） 「道府県から市町村への権限移譲に伴う道府県の機能の変化に関する考察」 討論者 和田尚久（東洋大学）</p>	<p>座長: 小西秀樹 （関西大学） ZOOM ホスト: 倉地真太郎 （明治大学）</p>
15:00~15:50	<p>本田正美（関東学院大学） 「都道府県官民データ活用推進計画策定に見る政策波及の経路依存性」 討論者 大島博文（大阪成蹊大学）</p>	

自由論題報告(2)		
16:00~16:50	<p>村山史世（麻布大学） 「地域アジェンダの共創と SDGs の自分事化」 討論者 梅村 仁（大阪経済大学）</p>	<p>座長: 上拂耕生 （熊本県立大学） ZOOM ホスト: 鎌苅宏司</p>
17:00~17:50	<p>中澤美昇（法政大学大学院）・金藤正直（法政大学） 「東京都における排出量取引制度の形成過程に関する研究」 討論者 石田 聖（長崎県立大学）</p>	

自由論題報告(3)		
16:00～16:50	青木勝一（文教大学） 「自治体と民間企業との包括連携協定に関する研究」 討論者 澤村隆秀（中部大学）	座長：関口 宏 （法政大学） ZOOM ホスト：倉地真太郎 （明治大学）
17:00～17:50	壬生裕子（同志社大学） 「自治体における民間提案に基づく公民連携の現状と課題 —大阪府阪南市行政サービス協働化制度を事例として—」 討論者 稲生信男（早稲田大学）	
18:00～19:00	懇親会	ZOOM ホスト：林 昌彦

9月27日(日)

自由論題報告(4)		
9:00～9:50	藤本伸一（同志社大学大学院） 「簿冊による自治体のマネジメント・システムの再構築」 討論者 佐藤 亨（日本生産性本部）	座長：前村昌健 （沖縄国際大学） ZOOM ホスト：小野島真 （明治大学）
10:00～10:50	藤田大輔（関西大学大学院） 「行政評価の歴史と課題—3市の事例から—」 討論者 茂木康俊（広島大学）	
11:00～11:50	高 哲央（明治大学） 「沖縄県下市町村の固定資産税に高税率をもたらしている 諸要因」 討論者 稲田圭祐（和光大学）	
12:00～12:50	田代昌孝（桃山学院大学） 「水道事業の災害対策に関する分析」 討論者 渡辺修朗（城西国際大学）	

自由論題報告(5)		
9:00～9:50	弓場光莉（同志社大学大学院生） 「『民』主導の協働によるまちづくりの研究—町家を活用した 宿泊施設としての交流の場を事例に—」 討論者 小川 長（尾道市立大学）	座長：千葉貴律 （明治大学） ZOOM ホスト：明石照久 （熊本県立大学）
10:00～10:50	畑 正夫（兵庫県立大学） 「持続可能な地域づくりのための戦略的コラボレーションの構築」 討論者 八木裕之（横浜国立大学）	
11:00～11:50	稲岡 亮（専修大学大学院生） 「私立高校授業料実質無償化措置が私立高校授業料に与える 影響分析—実質無償化措置実施県と非実施県での比較分析—」 討論者 金谷一郎（大阪経済法科大学）	

研究部会最終報告スケジュール		自由論題報告スケジュール	
報告	50分（報告者、各10分）	報告	20分
討論者コメント	20分（討論者、各10分）	討論者コメント	10分
コメントへの回答	10分（報告者、全体）	コメントへの回答	5分
自由討論	20分	自由討論	10分
バッファー	10分	バッファー	5分
計	<u>110分</u>	計	<u>50分</u>

オンライン学会報告の手引

日本地方自治研究学会

■事前準備の注意事項

1. 無料ライセンスを利用するなどして、ZOOMの操作に慣れておく。
2. 使用する機材は、接続確認の機会等を利用してテストする。その際、本番と同じ環境でテストすることが肝要。
3. 可能であれば、ヘッドセットを用意する。内蔵スピーカーの場合、ハウリングが起こりやすい。

■入室時の注意事項

1. 主催者（ホスト）及び参加者は、ウィルス対策ソフト、OS、ZOOM等のアップデートを済ませておく。
2. 主催者（ホスト）は、30分前に開始する。
3. 主催者（ホスト）は、待合室を有効化しない。
4. 主催者（ホスト）は、報告者のため、参加者に画像共有を許可する。
5. 参加者は、必ず氏名を表示する。不審者は、主催者（ホスト）が退出させることがある。
6. ネットワークの帯域を節約するため、発表者、座長、発言者以外はビデオ（顔出し）を停止する。
7. 座長、発表者及び討論者は、早めに（遅くとも10分前までに）入室し、主催者（ホスト）の指示に従って、マイク及びビデオのテストを行う。加えて、発表者は画像共有のテストを行う。
8. 他の参加者は、5分前までに入室する。スピーカーが100%になっていることを確認するが、発言するとき以外はミュートにする。参加者が忘れたときは、主催者（ホスト）がミュートに切り替える。
9. 録画、録音は禁止。

■座長の注意事項

1. 各セッションの座長は、報告者の氏名を確認し、開始を宣言する。冗長な挨拶は不要。
2. 事前に発表者および討論者に画像共有の有無を確認しておく。
3. 自由論題の時間配分は、次のとおりとする。研究部会の報告については、別途指示する。

報告報告	20分
討論者コメント	10分
コメントへの回答	5分
自由討論	10分
バッファー	5分
4. 18分経過後、「残り2分です。」と声をかけ、20分経過後、報告者の発言を制止する。
5. 討論者のコメント、コメントへの回答も、同様に管理する。
6. 質問は、ZOOMの「手を挙げる」機能で受け付ける。質問が多いときは、座長の判断で指名する。質問への回答は、まとめて答えてもらうなどして、時間内に終了する。
7. 座長は、予定時刻になれば、終了を宣言する。

■発表者の注意事項

1. ネットワークの帯域を節約するため、画像共有するときは、PFDファイルとする。迅速に画像共有ができるよう準備しておき、座長による氏名の確認後、画面共有を開始する。発表が終われば画面共有を停止する。なお、動画再生は禁止。
2. 著作権に配慮し、画像、文献等の出典を必ず明記する。
3. 時間を厳守する。その他座長の指示に従う。

■討論者の注意事項

1. 討論の方法は、任意。
2. ネットワークの帯域を節約するため、画像共有するときは、PFDファイルとする。

■他の参加者の注意事項

1. 質疑応答で質問があるときは、ZOOMの「手を挙げる」機能を使う。そして、座長の指名を受けた後、ビデオ（顔出し）を開始し、はじめに所属と氏名を述べてから発言する。
2. 発言は短く簡潔に（2分以内）。
3. 座長が終了を宣言した時、ZOOMの「拍手する」機能をお使いください。

ZOOMの「手を挙げる」機能の使い方

1. 「参加者」ボタンをクリックし、チャットの参加者画面を開くと、下段・右に「手を挙げる」という項目が現れる。
2. 発言するとき、「手を挙げる」をクリックすると、参加者画面の名前の右に手を挙げたアイコンが表示される。
3. 座長の指名があつてから、発言する。
4. 発言が終了した後、「手を降ろす」をクリックする。
5. 手が上がったままのときは、ホストが参加者の手を降ろす。

ZOOMの「拍手する」機能の使い方

1. 「反応」ボタンをクリックすると、「拍手」と「いいね」の2種類が表示される。座長が終了を宣言したとき、感謝の意を表するため、「拍手」をクリックする。
2. 拍手は、一定時間が経過すると消える。